

北海道 町村会報

2

732号

総務省

林崎自治財政局長を招き行財政セミナーを開催



道町村会は2月12日、全国町村会館で総務省の林崎自治財政局長を講師に招き、行財政セミナーⅡ写真Ⅱを開催した。平成31年度地方財政対策の決定に至るまでの動きや今後の見通し、それに対する対応などについて説明を受けた後、出席した14地区区町村会長の意見交換を行った。

林崎局長は「平成31年度地方行政財政の展望」と題した講演で、総務省の「自治体戦略2040構想研究会」がまと

Contents

行財政セミナー.....1	時評 佐々木泉頭弁護士.....3
鉄道網のあり方に関する意見交換会.....2	町村長選挙.....4
条例研究会.....2	リレーエッセイ 齊藤啓輔町長.....6

めた報告書の内容を取り上げ、2040年頃にかけて迫り来る我が国の内政上の危機として、「人口ボーナスを享受してきた三大都市圏は、急激な高齢化局面に突入する。特に東京圏は、入院・介護ニーズの増加率が全国で最も高く、医療介護人材が地方から流出するおそれがある」と指摘。また、「地方の大学数の減少が地方圏の若者の可能性を奪うこととなり、教育の質の低下が、技術立国として国際競争での遅れにつながる」「高度経済成長期以降に整備されたインフラが今後老朽化し、更新投資の増加が見込まれる」ことなどを説明した。

そして、このような危機に対応していくためには、人口縮減時代の新たな自治体行政への転換が求められているとし、具体的には、「スマート自治体への転換」として、破壊的技術（AI・ロボティクス等）を活用した事務作業の自動処理や、標準化された

共通基盤を用いた効率的サービス提供体制への移行が必要とした。また、「公共私によるくらしの維持」として、多岐にわたる地域の課題を共有し、公共相互間の協力関係を構築するためには、横串を通す役割が重要であり、行政にはその役割が求められていると指摘した。

その後、平成31年度地方財政計画のポイントについて説明があり、「一般財源総額は前年度を上回る62・7兆円を確保できた。地方税が増収となる中、地方交付税も前年度を上回る16・2兆円を確保し、7年ぶりの増額となった。地方税と地方交付税がともに増加したことで、臨時財政対策債を大幅に抑制することができると、一般財源の質の改善も図られた」と述べた。

また、個別の課題として、幼児教育の無償化に係る財源の確保や防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策の推進などについて説明があった。

オール北海道による鉄道の利用促進について意見交換

医療・教育分野の全道的団体などで構成する「北海道鉄道活性化協議会」が設立され、道民の日常利用やインバウンドをはじめとする来道観光客の一層の利用拡大に向けた支援を行うこととしている。

会議ではまず、道から協議会設立以降の事業実施状況として、道民キックオフフォーラムの開催（600人来場）や交通・観光振興のシンボルとなる特別な観光列車の運行（富良野線・宗谷線及び釧網線）、来道外国人観光客向け商品「北海道レールパス」の利用回復に向けたキャンペーンの実施などについて報告が

道町村会は2月12日、全国町村会館で鉄道網のあり方に関する意見交換会Ⅱ写真Ⅱを開催し、オール北海道による鉄道の利用促進に向けた取り組みについて意見交換を行った。会議には14地区町村会長などのほか、道から窪田副知事、黒田交通企画監が出席した。

鉄道の利用促進については、昨年12月に道、道市長会、道町村会のほか、経済・観光・産業・

あった。

続いて、今後の取り組みのイメージとして、①道民の利用拡大（普及啓発やノーカデーなど）、②道外・海外観光客の利用拡大（観光列車の実用化に向けた検討など）、③国民的理解・応援機運の醸成（首都圏でのプロモーション活動など）の観点で事業を検討していく考えを示し、引き続き、地域の協力を求めた。

意見交換では出席者から、「利用促進については沿線内でもそれぞれ温度差がある。オール北海道で各団体が同じスタンスで取り組むことができるかが課題。相当真剣にスピード感を持ってやらなければならぬ」「路線維持と利用促進は両輪。路線維持に関する基本的な環境条件が整わないと利用促進には繋がらない」などの意見があった。



第2回道町村会条例研究会を開催

道町村会は1月30日、道自治会館で平成30年度第2回道町村会条例研究会Ⅱ写真Ⅱを開催した。

研究会では、講師として迎えた全国町村会法務支援室長の西ヶ谷尚人弁護士から、平成32年4月からの地方公務員法及び地方自治法改正により新たな任用形態として位置づけられる会計年度任用職員の勤務条件等について説明があった。特記事項は次のとおり。

①フルタイム会計年度任用職員の給料表について

常勤の保育士等に対しては、行政職給料表を適用している自治体がある。会計年度任用職員制度では、給料表の1級1号給を基礎額とすることになっているが、このような自治体で行政職給料表の1級1号給を基礎額とすると、特に実務経験のない保育士等を採用する場合、学歴を加味したとしても給料水準が大きく下がってしまうことが予想され、人材確保に困難が生ずる場合もあり得る。こうした

事態を回避する手段として、「（保育等の）専門的な知識や技術を有していること」を理由に、初任給の号給設定を引き上げるといった措置も考えられる。

②区長の位置づけについて

区長を会計年度任用職員として任用すべきか判断しかねている自治体が多い。広報紙の配布といった区長の業務は、新地方公務員法3条3項3号の業務には該当せず、また、「命令に従う義務」や「信用失墜行為の禁止」などといった服務を課すのが不适当であり、労務管理に適さないことが多いと思われる。したがって、会計年度任用職員ではなく、「委託」や「有償ボランティア」として整理することが選択肢の一つとして考えられる。

③要綱で設置した委員会等の構成員の位置づけ

附属機関は地方自治法138条の4第3項に基づき、法令又は条例により設置された組織とされている。一方、要

綱で設置された委員会等は、附属機関ではなく私的諮問機関に位置づけられるというのが一般的な見解となっている。したがって、各団体において、組織の性質上、「附属機関」に該当する場合には、現在要綱で設置されている委員会等は、条例に設置根拠を設ける必要があるのに注意が必要。

附属機関の構成員の身分については、地方公務員法3条3項2号で規定する特別職非常勤職員となるが、私的諮問機関の構成員については、特別職非常勤職員には該当せず、私人として整理されるものと思われる。



研修講師フォローアップ 研修を開催

道町村会は1月31日、北農
健保会館（札幌市）で地区町
村会が実施する中級職員研修
における講師登壇経験のある
者の研修指導技術の向上を目
的とした研修講師フォロー

アップ研修を開催し、全道各
地区から19人が参加した。

研修では、（一社）日本経
営協会専任講師でコミュニ
ケーションアドバイザーの佐
藤みゆき氏が、「受講者を引
きつける、受講者に分かりや
すい講師としての話し方を学
ぶ」をテーマに講義を行った。

佐藤氏は、ボイストレーニ

ングや敬語の使い方、ワンセ
ンテンス毎に目線を移すこと
など受講者の心に残る研修と
なるよう話すためのトータル
スキルについて、演習を通じ
て具体的に説明した。

都道府県町村会の 正副会長が交流

全国町村会主催の都道府県

町村会正副会長交流会が1月
24日、全国町村会館で開催さ
れた。

交流会には各都道府県町村
会の正副会長、事務局長など
約170人が集まり、道町村
会からは高橋副会長（本別）、
大森副会長（木古内）、工藤
副会長（豊富）、宮坂副会長（厚
真）の各町長と山内事務局長

的言動を行うタイプ

威ある存在」であったが故に
クレイマー対応に不慣れであ
る。

近年、行政クレイマーであ
るモンスターペアレント対応
に関する相談件数が急増して
いるが、大きく次の二つのタイ
プに分類される。

①溺愛型↓とにかく自分の子

私は、①に対しては、正し
い情報を伝えて安心させるよ
う努力すべきであるが、②に
対しては、要求に屈すること
なく、脅迫的言動については
警告文書を送付し、警察等の
外部機関と連携の上で、毅然
とした対応が不可避であって、

う威圧的な態度に屈したと弁
明しているが、かような典型
的粗暴型タイプで虐待の疑い
のある者に女兒の訴え内容を
開示したら、一体どのような悲
惨な結果になるかを誰も想像
できなかったであろうか。こ
の時に毅然とした対応をして
いれば、父親の虐待行為への
抑止の効果もあったはずであ
り誠に残念でならない。

クレイマー対応に不慣れな
ため、公務員はクレイマーに
必要以上に怯えている。法令
遵守が要求されるのはクレイ
マーも同じである。公務員の
方には、大切な子供の命を守
るためにも、法令遵守を徹底
していただくことを切に願う。

佐々木 泉 頭

（北海道町村会顧問弁護士）

が出席した。

冒頭、来賓の古賀総務大臣
政務官と櫻井全国町村議会議
長会会長から祝辞が述べら
れ、その後、自治功労者への
表彰が行われた。

また、宗教学者の山折哲雄
氏が「日本文明とは何か」と
題して講演したほか、出席者
が各地域で抱えている課題な
どについて意見交換を行い、
交流を深めた。

平成30年度 全国町村会表彰

全国町村会は1月24日に全
国町村会館で開催した都道府
県町村会正副会長交流会にお
いて、多年にわたり町村自治の
振興発展に貢献した関係者を
「自治功労者」として表彰した。
道内からは、現職町村長と
して菅原浜頓別町長、関小平
町長の2人、退職町村長とし
て北前奈井江町長が受賞した。

町村長（3期・2人）

浜頓別町長 菅原信男
小平町長 関 次雄

退職町村長（8期・1人）

前奈井江町長 北 良治

時評

行政クレイマーと児童虐待

私が小学生の頃、学校の先
生は絶対的な権威を有してい
た。言うことを聞かない生徒
を殴つても、「体罰！」などと
誰も騒がなかったし、下手に
親に言いつけたりすると、「先
生に殴られるようなことをし
たお前が悪い！」と怒られて、
親からも殴られる羽目になっ
た。ましてや教育委員会に物
申すことなど、およそ考えら
れなかった。

他方で民間企業に対しては、
誰も遠慮したり我慢しなかつ
たから、ホテル業界などはク
レイマー対応に習熟しており、
あるところまでは顧客として
対応するが、一線を越えた場
合には自分たちだけでは対応
せず、専門家のアドバイスを
受けたり、対応を一任するとい
った方策をとって企業防衛
を行ってきた。それに対して学
校や教育委員会は、長い間「権

供が一番で、自分の子供が差別
されたりいじめられていないか
不安で仕方がなく、しつこく
情報提供を求めるタイプ。
②粗暴型↓学校に過大な要求
をして、受け入れられない場
合には大声を出したり、訴訟
提起をほのめかしながら脅迫

法令遵守を徹底するようにア
ドバイスしている。
野田市教育委員会は、女兒
の作成したアンケートを、虐
待行為が疑われる当の父親に
渡すという信じがたい法令違
反行為を行った。父親の大声
や名誉毀損訴訟を起こすとい

1・2月の町村長選挙

2選
 増毛町・堀 氏
 西興部村・菊池 氏

初当選
 知内町・西山 氏
 俱知安町・文字 氏

1・2月は4町村で選挙が行われ、2町村で現職が再選を果たし、2町で新人が初当選を果たした。

1月15日に告示された後志管内俱知安町長選は、現職の西江栄二氏と新人で前町福祉医療課長の文字一志氏の選挙戦となり、20日開票の結果、新人の文字氏が初当選を果たした。

俱知安町長

文字 一志 氏



①昭和38年3月17日生
 ②俱知安町出身
 ③北海学園北見大学卒
 ④1回当選

平成27年4月町総合政策課長、平成30年4月町福祉医療課長、平成31年1月俱知安町長初当選

西興部村長

菊池 博 氏



①昭和32年7月20日生
 ②西興部村出身
 ③興部高等学校卒
 ④2回当選

平成21年5月オホーツクはまなす農業協同組合参事、平成27年1月西興部村長初当選、平成31年1月2選

増毛町長

堀 雅志 氏



①昭和29年9月21日生
 ②増毛町出身
 ③増修大学卒
 ④2回当選

平成25年4月町税務町民課長、平成27年2月増毛町長初当選、平成31年1月2選

知内町長

西山 和夫 氏



①昭和33年11月20日生
 ②知内町出身
 ③函館大学附属函館高等学校卒
 ④1回当選

平成10年5月知内町漁業協同組合代表幹事、平成15年1月町議会議員、平成31年2月初当選

同じく、1月15日に告示されたオホーツク管内西興部村長選は、現職の菊池博氏以外に届け出がなく、同氏の無投票再選が決まった。

また、1月28日に告示された留萌管内増毛町長選は、現職の堀雅志氏以外に届け出がなく、同氏の無投票再選が決まった。さらに、1月29日に告示され

た渡島管内知内町長選は、現職の大野幸孝氏と新人で前町議の西山和夫氏の選挙戦となり、2月3日開票の結果、新人の西山氏が初当選を果たした。

第65回北海道広報コンクール審査会
 芽室町、鷹栖町、当麻町 が特選に決定

広報広聴技術研究会実行委員会（委員長・柴田道町村会常務理事）は1月25日、道自治会館で第65回北海道広報コンクール審査会を開催し、平成30年1月から12月までに市町村及び関係団体が発行した広報誌（紙）、広報写真などの特選・入選作品の選考を行った＝選考結果は下記（町村のみ）＝。

選考結果

広報誌（紙）（町村の部）

- 特選＝芽室町
- 入選＝鷹栖町
 妹背牛町
 比布町
 当麻町

広報写真 一枚写真（市町村の部）

- 入選＝鷹栖町

広報写真 組写真（市町村の部）

- 特選＝鷹栖町
- 入選＝洞爺湖町
 当麻町

映像（市町村の部）

- 特選＝当麻町



●特選（広報誌（紙）/町村の部）
 「すまいる smile 6月号」
 芽室町



●特選（広報写真 組写真 / 市町村の部）
 「広報たかす 9月号」
 鷹栖町

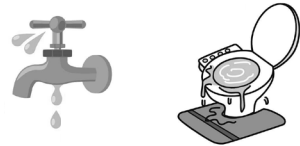
共済契約に自動付帯されるサービスのお知らせ

トラブル・故障でお困りの際に、下記の専用フリーダイヤルにお掛けいただくと、専門業者を手配します（24時間受付）。

注）サービスのご利用時は、事前に必ず下記フリーダイヤルまでご連絡ください。
本修理や部品交換などの応急処置を超える修理費用は契約者のご負担（有料）となります。

ホームアシスタンスサービス（火災共済に自動付帯）

☎ 0120-228-119（専用フリーダイヤル）



サービス内容

○水廻りのトラブル処置が無料

- ①水漏れ応急修理
- ②排水口の詰まり除去
- ③水栓パッキン交換
- ④その他水廻りトラブルの応急修理
- ⑤トイレの詰まり除去 など

※給排水管の凍結を原因とする場合は対象外

○鍵のトラブル処置が無料

- ①一般的な住宅鍵の解錠・破錠
- ②その他鍵周りのトラブル対応 など

ロードサービス（自動車共済に自動付帯）

☎ 0120-365-900（専用フリーダイヤル）



サービス内容

○レッカーけん引

（1回につき100kmまで無料）

○燃油切れ時の給油サービス

（1回につき最大10リットルまで無料）

○応急処置（1回につき30分程度の作業費用が無料）

（主な事例）

- ・雪道スタックからの引き出し
- ・バッテリー上がり時のジャンピング
- ・キー閉じ込み時の鍵開け
- ・パンク時のスペアタイヤ交換

※チェーン脱着作業は対象外

<問い合わせ先>

火災・自動車共済の「加入のご案内」を北海道町村会ホームページ (<http://www.h-chosonkai.gr.jp/>)
災害共済部の全国町村職員生活協同組合共済事業に掲載しておりますのでご参照ください。

全国町村職員生活協同組合北海道支部（北海道町村会災害共済部）

〒060-0004 札幌市中央区北4条西6丁目 北海道自治会館6階

☎ 011-241-7184（受付時間：平日の午前8時45分～午後5時30分まで）

- | | | | | | | | | |
|----------------------------|--|--|--|--|---|-----------------------|---|--|
| <p>31日 ▼ 研修講師フォローアップ研修</p> | <p>30日 ▼ 北海道町村会条例研究会
▼ 国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会開始式（釧路市・会長）</p> | <p>25日 ▼ 北海道広報コンクール審査会（常務理事）
▼ 北海道教育会議・教育懇談会（常務理事）</p> | <p>24日 ▼ 北海道東北六県町村会会長会議（東京都・会長 ほか）</p> | <p>23日 ▼ 北海道東北六県町村会会長会議（東京都・会長 ほか）</p> | <p>21日 ▼ 過疎地域を考える懇話会（標津町長）
▼ 北海道オリパラの会常任幹事会（常務理事）</p> | <p>15日 ▼ 会長年頭あいさつ</p> | <p>10日 ▼ 町村負担金等審議委員会
▼ 全道地区町村会事務局長会議及び研修会</p> | <p>北海道
町村会</p> <p>1月の活動日誌</p> |
|----------------------------|--|--|--|--|---|-----------------------|---|--|

食の都よいち



余市町長 齊藤 啓輔

ニッカウキスキーでおなじみ、ジャパニーズウイスキーの聖地・余市町は、リンゴやぶどうなどの生産量は全道一を誇り、さらにはウニ、イクラ、エビなどの海の幸にも恵まれた食の宝庫であるといえます。特にワイン用ぶどうは北海道の生産量の50%を占め、ワイナリーの数も着実に増え続けていて、世界にマーケットが広がるワインの町としても注目を集めています。

飲んで食べての食の都・余市。

冒頭では本町は食の宝庫であるとしましたが、本町の宝はそれを支える人たちであります。世界的にも注目を集めるワインの造り手、魚の鮮度を保ったまま出荷流通ができる放血神経締めという究極の血抜き技術を持ったスーパー漁師さん、トマトなどの野菜の栽培における独自のこだわり生産技術を持ったスーパー農家さん、さらには北海道を代表するような料理人も居住しています。こういった人たちと共に先人達の故きを温ね、新しきを知り、挑戦し、さらなる価値を求めたいと思っ

ております。

昨年12月8日の高速道路後志自動車道余市ICの開通なども追い風となり、大消費地である札幌圏、一大リゾート地であるニセコエリアというインバウンド拠点までの距離もさらに短く縮まっております。

この機会を逃すことなく、食の都としての余市の発信に積極的に取り組み、本町の持つ可能性をしっかりと発揮できるような施策の展開をしていきたいと思ひます。

ここまで食の都として本町を紹介いたしました。が、もちろんそれ以外の分野でもポテンシャルは十分に秘められており、その価値を見出し、向上させていくことが本町の首長である私の責務です。町民が、わくわくを感じられるよう、そしてそのわくわくを北海道中、日本中、世界中へと波及することができるよう努めてまいりたいと思ひます。

(次は、新冠町長の鳴海修司氏にバトンタッチします。)

町村TOPICS

羽幌町 | 環境に配慮する事業者として認証！ 羽幌シーバードフレンドリー認証制度を創設

本町は、天売島で繁殖する海鳥をはじめとした自然の豊かな町です。町の特色でもある海鳥を取りまく、地域の自然環境を守る取組を進めるため、地元の産業団体や行政等が連携し、「羽幌シーバードフレンドリー（SBF）認証制度」を創設しました。

羽幌SBF認証制度とは、地域で環境に配慮した取組を行っている事業者を、「海鳥に優しい取組を行う事業者」として認証し、ロゴマーク（写真）の表示や啓発活動を通して販売商品等をPRし、事業者の取組継続を応援するものです。海鳥をシンボルとして「環境保全」と「産業振興」の両立を目指した全国初の取組です。



羽幌シーバードフレンドリー認証

清水町 | 男子図鑑で婚活支援 ～コイノヨカン（恋の予感）プロジェクト始動

「清水町はいい男も豊作です。」をキャッチフレーズに、結婚や出会いを意識する独身男性を紹介する「清水男子図鑑」を発刊しました。

本町の基幹産業である農業はもちろん製造業、福祉関係、ラーメン店、僧侶など掲載されている男子の仕事や年齢は様々です。図鑑では彼らが生き生きと職場で働く姿や、私服姿をファッション誌風にまとめ、仕事のやりがい、休日の過ごし方などを紹介しています。

コイノヨカンプロジェクトのコンセプトはまちぐるみの「素敵なおせっかい」。役場職員9人と町民12人の「出会いサポーター」がタッグを組み、これからも独身男女の背中を後押ししていきます。

